

心豊かに暮らせる

総合的な地域交通を

横浜市会議員 竹内やすひろ



令和4年予算代表質問

間の取組の基本的な方向性が示されます。

現在バス事業では、市営バスに加え、多くの民間事業者が主体となりバス路線が運行されていますが、バス事業の経営を維持していくためには減便や路線の再編が避けられない状況との課題もあります。

令和4年度横浜市会第1回定例会において、公明党横浜市会議員団を代表し、市政運営の重要課題について、「地域交通施策」等15項目に渡り市長に対し代表質問を行いました。

暮らしができる横浜であるための地域交通は重要です。どこかへ出かける、「移動」は人類が持つ優れた本能の一つです。人間が人間らしく生きていく為の権利の一つでもあります。「あなたは、高齢者なので出かけないでください」とは言えませ

ません。坂道が多く存在する横浜市。特に高齢者の移動課題への喫緊の対応が重要で、スピード感を持って取組を進めるべきです。4年度予算には、地域交通関連で、約1億3

千円が計上されました。新たな交通の実証実験も始まります。令和2年に地域公共交通活性化再生法が改正され、地域が自らデザインする「地域公共交通計画」の作成が努力義務となりました。横浜市では現行の「横浜都市交通計画」が令和4年度に一部改定され、「地域公共交通計画」となります。改定に当たっては、市民の多様な地域交通施策は重要で、まちづくりそのものに繋がります。市民のライフスタイルの変化に合った、様々な交通をデザインしていくことが大



公明党
竹内 やすひろ

- 公明党横浜市会議員団团长
- 公明党神奈川県本部幹事長代理
- 防災士

事務所 神奈川区大口通127-16
コスガビル1F
☎045-716-6822

切です。